

令和４年度 グループホームゆいの里 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自 己 評 価 実 施 日	４～５月中
外 部 評 価 日	令和４年１０月２８日(金)
実 施 方 法	運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」
外 部 評 価 者	民生児童委員協議会会長、地域住民代表、今治市役所大三島支所、大三島支部運営委員長、伯方地域包括支援センター大三島サブセンター、今治市社協大三島支部支部長、グループホームゆいの家管理者、小規模多機能ゆいの村管理者等 計１３名
開 示 状 況	利用者及びその家族へ送付 今治市へ提出 今治市社協ホームページ・事業所内へ掲示

令和4年度 グループホームゆいの里 (自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・玄関から入って直ぐ見える箇所に大きく貼り出し、出勤時やいつでも確認できる様にしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・例年であれば避難訓練や夏祭り、ふれあいフェスタ等、地域の方々を招いて行う行事もあるが、コロナ禍で実践できていない。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・2ヶ月に1回開催される運営推進会議で状況報告を行ったり、委員さんからは様々な視点からの意見を頂き、必要があれば申し送りノート等で情報の共有を行っている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・2ヶ月に1回開催される運営推進会議や、必要時には支所へ訪れ、相談や助言を受けている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎年1回、身体拘束防止に関する研修を受け、ミーティング等で伝達研修を行い、スタッフ全員が身体拘束ゼロに向けた取り組みについて周知徹底を行っている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・高齢者虐待防止について、外部研修や事業所内で研修を受け、自分が行った介護や言葉掛けが虐待に当たらないかどうか、スタッフ同士で気を付け、気付いた時には注意するようにしている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・職員全員が研修を受ける事が出来ていますか。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・現在、成年後見制度を利用している利用者さんがおり、必要性や役割について、職員間で学ぶ機会を設けている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・分からない事が無いか何度も確認しながら、契約書に沿って契約内容の説明を行っている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎年、利用者・家族に対しアンケート調査を実施しているが、コロナ禍でなかなか施設内の状況の説明が難しく、毎月お便りで確認頂きながら、対応している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・1日の主家ジュール、ある日の過ごし方などをお便りに掲載してはいかがでしょうか？ ・家族との連携は良くとれています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎日の申し送り時や適宜、また毎月のミーティング等で、運営に関する意見を確認しながら、より良いサービス提供が出来るよう話し合っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・目には見て取れないが、個別評価や目標達成計画等、各自の評価や目標設定を行いながら、目標をもって働く事が出来る環境にある。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・一人一人の仕事に対する意欲や思いが低下しない様、交流や相談の場を設け、出来るだけ早急に解決できる様対応している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・コロナ禍で、他事業所との交流は難しいが、電話等でコロナ禍で行っている事や対策・対応などを確認しながら、情報の共有は出来ている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・家事を一緒にこなしたり、一緒に悩んだり笑ったりできるよう、利用者さんとの会話を大切に、職員間で共有している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・面会には色々規制はあるが、中止はしておらず、テレビ電話で顔を見ながら会話したり、窓ガラス越しに面会して頂いたり、感染予防も考慮しながら黄龍して頂いている。	・馴染みの関係作りは出来ていると思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・職員を担当制として、担当利用者さんに関する情報を他職員から収集し、より良いサービス提供が出来るよう、カンファレンスでみんなで話し合い、その結果を実施している。			

17	チームでつくる 介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎日の申し送りで情報の共有と問題の定時・対策・解決を随時行いながら、毎月のミーティングで改めてケアの方向性を修正している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎日のケアプランに沿った評価と月評価を担当スタッフ、家族へもお知らせし、計画の見直しや調整を随時行っている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・随時、家族とも連絡を取り、現在の様子や毎月の過ごしている様子を個別にお便りと一緒に配布し、意見を確認し、職員間で共有しながらケアに生かしている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・キーパーソンや家族との繋がりをお互いに感じて頂けるよう、本人・家族の様子を確認しながら、電話やテレビ電話の機会を持って頂いている。	・コロナ禍で活動自体が出来ていない。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・主治医とも随時連絡を取り合いながら、健康状態や精神状態も安定し、安心して過ごして頂けるよう対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・緊急時に入退院の連絡はもちろん、退院後のフォローも含め、主治医や病院関係者・地域医療連携室担当者等と連携し、スムーズに帰棟出来るよう対応している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・入退院の連絡は、細かく十分に出来ていると思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・本人・家族の希望を確認し、出来るだけ意向に沿えるようスタッフ全員意識を統一し、思いに寄り添いながら対応している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・定期的に急変時の対応について、内部研修や事業所ミーティング時に看護師等が起こりうる急変に備えた対策について、随時職員間で話し合っている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・年に2回消火避難訓練を実施。地震や自然災害時の対応についてもマニュアル化し、適宜訓練を行っている。	・コロナ禍で、地域と合同での消火避難訓練が出来ていない。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・コロナ禍の為、地域との合同が実施できていないのは残念ですが、今後、また訓練が出来ると思います。 ・災害の対応は大変だと思いますが、適宜訓練を続けて下さい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・本人や他利用者さんの前では、プライバシーや人格を尊重した対応が出来ている。信頼関係の中での言葉掛けも、尊敬・尊重が優先したかわりが出来ている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・状況を確認ができないため、Bをつけましたが、配慮はされていると思われます。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・中には、どうしても業務の流れを考えながらの対応も、見られる事がある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・誕生日や月の行事、日常会話の中から出た食べたいもの等の意見を参考に、メニューを変更しながら、「食」を楽しんでいる。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・食事の時、皆さんの表情を思い起こして、笑顔が嬉しいです。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・個々の飲水量や摂取量等を家族や、必要があれば主治医とも相談しながら、調整し、栄養状態等も確認しながら、嗜好を考慮した食生活が送れるように支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・食事の摂取状況を確認しながら、痛みや咀嚼しにくい時は、状況を確認し、歯科医へ相談。歯科検診後、治療について本人家族と相談しながら対応している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・出来る限り、声掛けしトイレで排泄して頂いている。紙パンツも最終手段とし、排便困難にも医師に相談し、必要時には緩下剤を服用しながらスムーズに排便できる様調整している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・隔日を基本としているが、その日その時点で希望したり気分が乗らなかったりで順番を入れ替えたり、無理強いせず希望を優先し、気持ち良く入浴して頂いている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・出来るだけ昼夜逆転を予防し、十分な睡眠時間が確保できる様、不安な時は寄り添い話を聞いたり、無理に就寝を促さず、自然に眠くなる環境を整えながら支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・服用中の内服薬は、随時医師や薬剤師と連携し、必要性や副作用等の出現について確認し、スタッフにも周知徹底をお願いしている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・服薬等、医師・薬剤師連携以外、看護師も役割を果たしておられると思いますので、明記されてはどうでしょうか？
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・家事等、個々で出来る事をお願いし、終わった時にお礼の言葉を伝える事で、達成感や充実感を感じて頂き、生活意欲の低下を予防する事が出来ている。	・スライドショーを見て、利用者さん一人一人の笑顔が、日常を楽しんでいる様子が良く分かります。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・ドライブに出掛けたり、天気の良い日には庭先を散歩している。一人で散歩に出かけても、デイサービスや他事業所の方々にも協力を頂きながら、自由に散歩できるようにしている。	・コロナ禍で中々外出の機会も減り大変だと思いますが、感染予防を徹底しながら対応頂ければと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・金銭管理については、2名を除いて全面的に介助しており、自分で計算して支払い、お釣りをもらうなどの動作は行っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者さんが希望する場合は自由に電話やテレビ電話も利用し会話して頂いている。手紙なども定期的に家族から届いたり、お礼の電話をしたりしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・常に決まった場所で過ごすのではなく、座りたい場所や時には居室で過ごしたり、本人の居心地のいい場所で過ごして頂ける様にしている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・日常生活の場としての対応が出来ているかと思います。

Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・現在、ゆいの里での生活について、ドライブ等へ出かけ、帰った時「あ～家に着いたよ」「帰ったねえ～」と家に帰ったように感じて頂けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・コロナ禍で積極的には出来ないが、敷地内の友人や知人と、いつでも自由に交流できる様に環境を整えている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎日バイタルチェック等の健康チェックを行い、異常を早期発見、直ぐに主治医へ上申し対応する事で、健康状態が安定し、安心して日常生活を送る事ができています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・一日の過ごし方の中には、概ね自由に過ごす時間を設け、一人一人の生活リズムを崩さない様、無理強いしない様対応している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・自宅から持ってきたものや、後で居室内等に設置した物や、シルバーカー等は、自分の持ち物として、個々の馴染みの物の一部になっている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・自己評価の(記述)にある「後天的に」の表現は合っているのでしょうか？ ・後天的⇒後でに変更しました。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・皆さんコロナで外出が出来にくいことを理解してくれているが、徐々に気を付けながら、地元の神社へ初詣へ出掛けたり、住み慣れた地域へのドライブ等も行っている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・洗濯物を干したりたたんだり、食材の下ごしらえや、台拭き・お盆拭き。掃除や片付け等、一緒をお願いする事で、役割意識が持てたり、達成感や充実感を感じて頂きながら支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎日の日常会話の中にも、笑い声が絶えず、時に口論となったりする事もあるが、それぞれが共同生活の必要性を感じ、仲良く交流する事ができている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・自己主張もあるとの事。これも本人の生きる力となり、また、皆さんの受け止め姿ですね。大切に前向きで嬉しいです。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・近隣や地域の方々も、感染予防のためなかなか交流の機会を持つことが出来ていないが、事業所内では馴染みの友人・知人との関係が保てるよう、屋外で距離をあげ自由に交流できるようにしている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・潜在化した悩みや不満・不安を出来るだけ顕在化し、チーム一丸となって解決しながら、家族の一員としてなんでも言い合える関係作りを目指し、いつでも安心して過ごせるように支援している。	・スライドショーの皆さんの笑顔を見ながら、スタッフの皆さんも良く頑張っている事が分かります。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・コロナ化で地域との関りがほとんどなくなっており、難しい部分もあるかと思いますが、工夫して頑張りたいと思います。

(参考様式4)

事業所名 今治市社協グループホームゆいの里

作成日: 令和 4年 9月 2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	・利用者さんの中には、自己主張の強い方もいらっしゃいます。他利用者さんの不安の原因になったり、職員の対応次第では、個性を消してしまう恐れもあると思います。	・自己主張も、その方にとっては、生きる力となり得ると言う事を職員全員が理解し、個性を消してしまわないような関わりを心掛けたいと思います。	・主張の内容を改めて確認してみたり、マイナスイメージだけでなく、その主張をプラスイメージとして受け止める事で、本来の主張する意味が理解できるのではないかと思います。職員みんなが支え合う気持ちを一つにして取り組みたいと思います。	3ヶ月
2	25	・消火避難訓練では、毎年地域合同で開催していましたが、コロナ禍で3年間開催出来ていません。毎年各事業所毎に訓練は実施していましたが、いざ火災が発生した時の地域の方々の力は必要だと思われます。	・感染状況を確認し、訓練に際し、感染予防対策を徹底しての訓練の開催も予定し、地域の方々にも協力頂き、合同避難訓練を実施し用とします。	・年度内の開催は難しいと思われる為、毎年予定していた6月の第一土曜日を目標に、他事業所の訓練の様子や感染対策などを参考に、開催できる様準備していききたいと思います。	10ヶ月
3	6	・コロナ禍で、研修も中止になったり、感染予防の為、参加を見合わせる事がほとんどで、積極的に研修への参加が出来ていませんでしたが、身体拘束と高齢者虐待防止について、感染予防対策についての研修については、内部研修等で全員が参加(ミーティング等)しています。	・身体拘束と虐待防止、感染症対策以外の研修についても、職員が交代で研修へ参加し、学んだ内容についてはミーティング等で伝達し、職員全員が研修内容について確認し、学べる機会を確保していこうと思います	・愛媛県地域密着型サービス協会の東・中・南予の研修や愛媛県在宅介護研修センターや愛媛県・今治市が主催の研修などへ、感染予防をしつつ積極的に参加しようと思います。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。